

「宝島のフィールドワーク」

1 団体名

宝島社会教育学級と十島村立宝島小・中学校

2 人数

宝島社会教育学級 24名（内教職員9名）

3 日時・場所

平成28年8月29日 鹿児島郡十島村宝島

4 活動に取り組んでいる史跡の名称・時代・特徴について

(1) 名称・時代

- ・ 観音堂〔鍾乳洞〕（かんのんどう〔しょうにゅうどう〕）：時代
- ・ 大池遺跡（おおいけいせき）：縄文時代
- ・ イギリス坂（いぎりすざか）：江戸時代

(2) 特徴

- ・ 観音堂〔鍾乳洞〕

17世紀後半、イギリスの海賊キャプテンキッドが財宝を隠したという言い伝えがある鍾乳洞の手前に観音堂がある。観音堂には、木製と鉄製の立派な古い像があり、木製の像には文明4（1472）年の墨字がある。宝島民謡の「トカラ観音しゅう」は、この観音様参りを歌ったものである。

鍾乳洞の入口には、「勢至菩薩」を拝めるようにと厨子が作られ、その傍には地藏の石像がある。

- ・ 大池遺跡、浜坂貝塚

梅雨時期だけ水が溜まる大池。雨乞いの儀式が行われていたとされており、神聖な場所として現在も大切にしている。周辺に貝塚があり、宇宿下層式から上層式にいたる土器や九州の轟式土器と関連がある土器が見つかっている。

近くの浜坂貝塚では、本土系の黒川式土器や夜臼式土器が出土し、先史時代からの南北交流の跡がうかがえる。

- ・ イギリス坂

文政7（1824）年、宝島にイギリス船が漂着し、牛を奪おうとした乗組員を島民が殺害した。浜坂貝塚近くのその現場は後、「イギリス坂」と呼ばれた。この事件により幕府は、翌年「異国船打払令」を命じた。

（参考：下野 鯨「南日本の民俗文化史3」南方新社，2009年）

5 保存会や地域との連携の具体

宝島小・中学校では毎年、職員研修において、夏季休業中に島内の史跡巡りを行っている。職員の異動が多い本校では、恒例の活動である。今回、本島の社会教育委員と連携して、社会教育学級も兼ねて「史跡巡り」を計画したところ、平日の日中ではあったが、多機能ホームの入居者や職員の方々等、多くの

地域の方々の参加もあった。講師は、普段から観光客に島内観光のお世話をされている現業職の方等3名にお願いした。

6 活用の取組の工夫した点

職員研修としての史跡巡りであったことから、今後、職員の教科指導での活用や、児童生徒の課題解決学習の指導において本取組の成果が発揮されると期待される。

7 取組の様子（史跡巡りの実際）



鍾乳洞入口



観音堂



大池遺跡



イギリス坂

8 参加児童生徒・保護者・保存会・教職員等の感想・意見

【社会教育学級参加者】

- ・ 宝島に住んで2年目になるが、観光としてじっくりと島内を見ることができてよかった。
- ・ 宝島の様々な深い歴史を知ることができてうれしかった。
- ・ トカラ馬に実際乗れて感激だった。
- ・ 多機能ホームの入居者の方も参加できて良かった。久々の島内巡りが新鮮だったという声もあった。

【教員】

- ・ 異国船打払令が出されたことに宝島が関わっていたことに驚いた。
- ・ 今後の教科指導に生かせる教材が豊富であることに気付き、ますます調べたくなった。
- ・ 大池と女神山の間に「神様の通り道」があるという言い伝えに興味をわいた。
- ・ 身近な地域のフィールドワークを児童生徒にも実施させたい。